

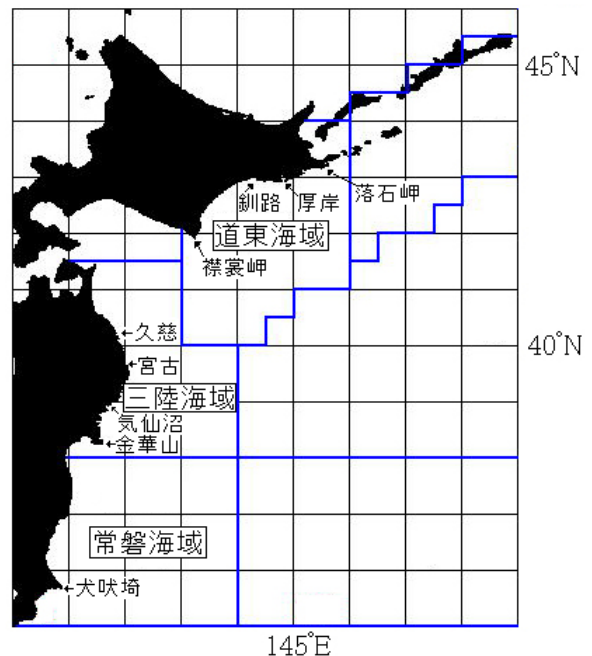
平成26年度 第8回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2014年11月下旬～12月下旬)のポイント

来遊量

- ・ 道東海域は終漁。
- ・ 三陸海域では、11月下旬は減少して低位水準となる。
- ・ 常磐海域では、11月下旬は増加するものの、低位水準。



海域の名称

問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 事業二課
担当：渡邊、松尾
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881
当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

独立行政法人水産総合研究センター
当資料のホームページ掲載先URL
<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

平成26年度 第8回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2014年11月下旬から12月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

来遊量は少なく、終漁。

(2) 漁場

漁場は形成されない。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

来遊量は減少し、11月下旬は低位水準となる。12月上旬は断続的となり、終漁となる。

(2) 漁場

11月下旬～12月上旬は三陸南部が漁場となる。

3) 常磐海域


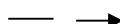




(1) 来遊量

11月下旬は、来遊量は増加するが、低位水準である。12月上旬から来遊量は減少し、12月上旬～中旬も低位水準で推移する。12月下旬は断続的となる。

(2) 漁場

11月下旬は常磐北部が主漁場であるが、常磐南部まで漁場が広がる。12月上旬は、常磐南部でも漁場が持続する。12月中旬～下旬は、常磐南部に漁場が残る。

2. 予測の概要

海 域		11月下旬	12月上旬	12月中旬	12月下旬
道東海域	来遊量				
	動向				
	漁 場				
三陸海域	来遊量				
	動向	低位減少	断続的		
	漁 場	南部	南部		
常磐海域	来遊量				
	動向	低位増加	低位減少	低位減少	断続的
	漁 場	北部～南部	北部～南部	南部	南部

3. 漁況の経過概要（11月上旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した道東海域における来遊量の水準は、前旬および前年を上回り、中位水準であった。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、来遊量は期半ばにかけて増加し、その後減少した。

(2) 漁場

道東海域では、襟裳岬沖に漁場が形成された。襟裳岬南東～南沖の70～100海里付近（9～16℃）では、連日大型船5～50隻程度と小型船が操業。大型船で最高130トン、平均87トン漁獲した。

(3) 魚体

体長30～31cmモードの大型魚主体であった。大型魚の体重は130～150g台主体であった。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した三陸海域における来遊量の水準は、前年を上回ったが、前旬を下回り、中位水準であった。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、来遊量は期後半に増加した。

(2) 漁場

三陸海域では、大船渡沖～金華山沖に漁場が形成された。大船渡東～金華山東沖の15～50海里付近（16℃）では、小型船主体に、大型船が数隻操業した。小型船で数トン～35トン程度した。

(3) 魚体

中型魚主体であった。

3) 常磐海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した常磐海域における来遊量の水準は、前年を下回り、前旬並の低位水準であった。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、来遊量は期後半に増加した。

(2) 漁場

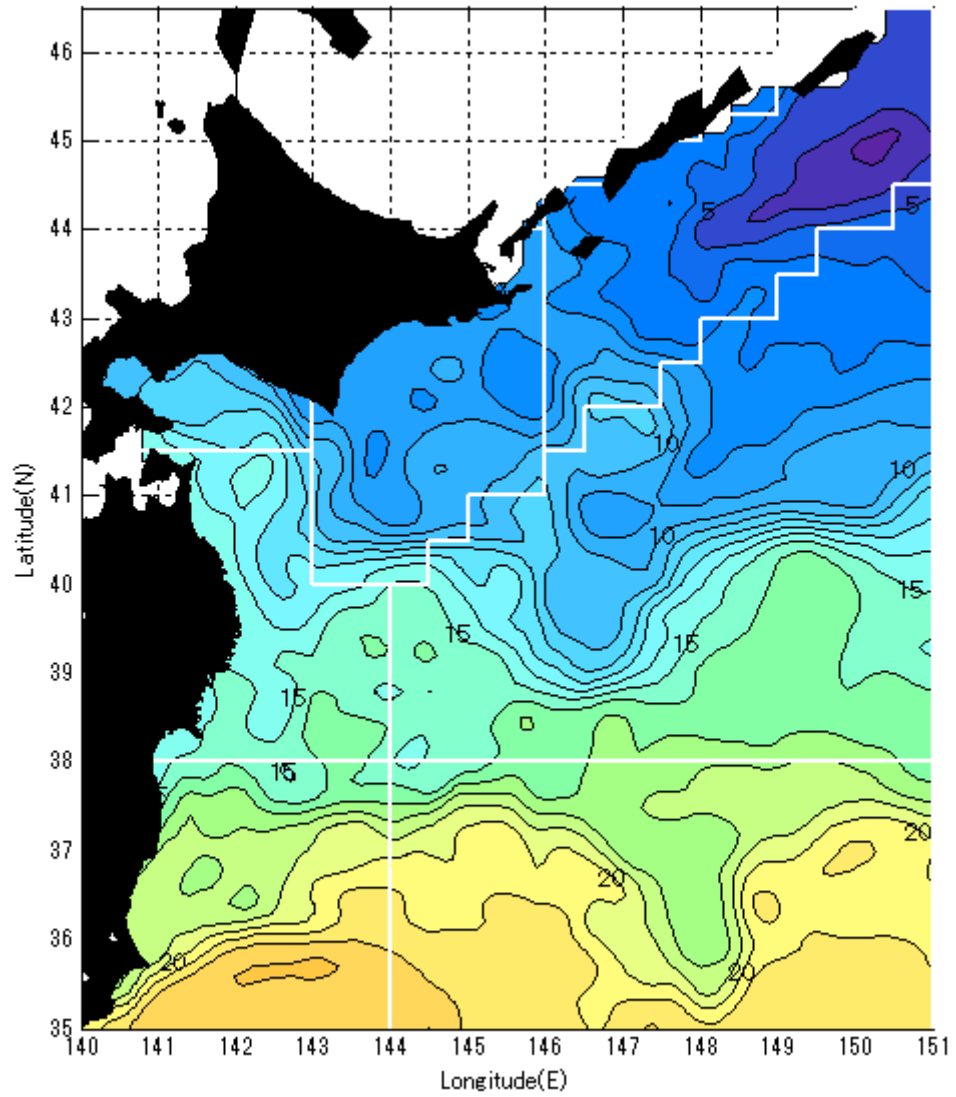
常磐海域では、金華山沖に漁場が形成された。金華山南東50海里付近（17℃）では、1日夜、5日夜、8日夜に大型船が数隻操業し、最高40トン、平均18トン漁獲した。

(3) 魚体

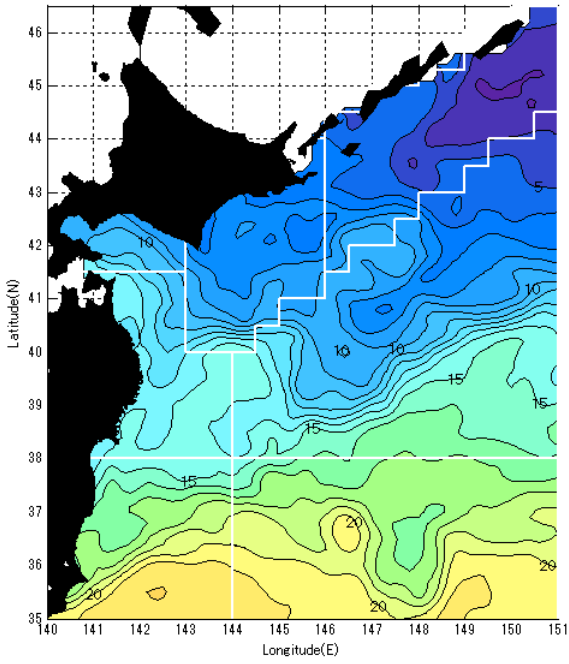
中型魚主体であった。

4. 予測水温分布図

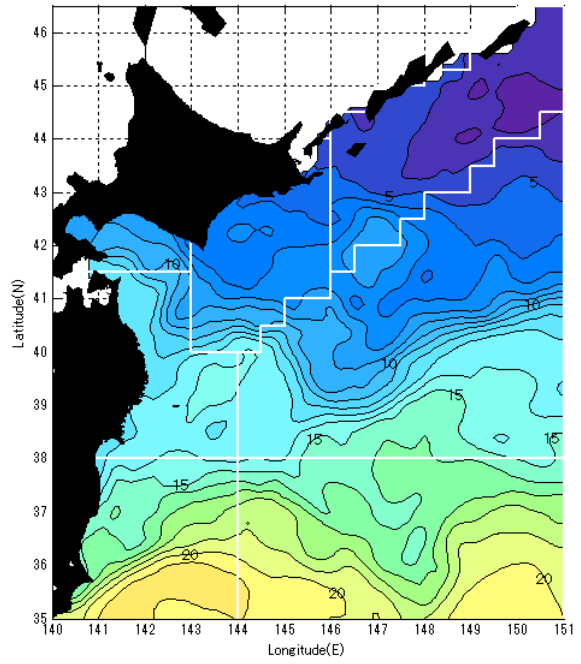
11月下旬予測表面水温分布図



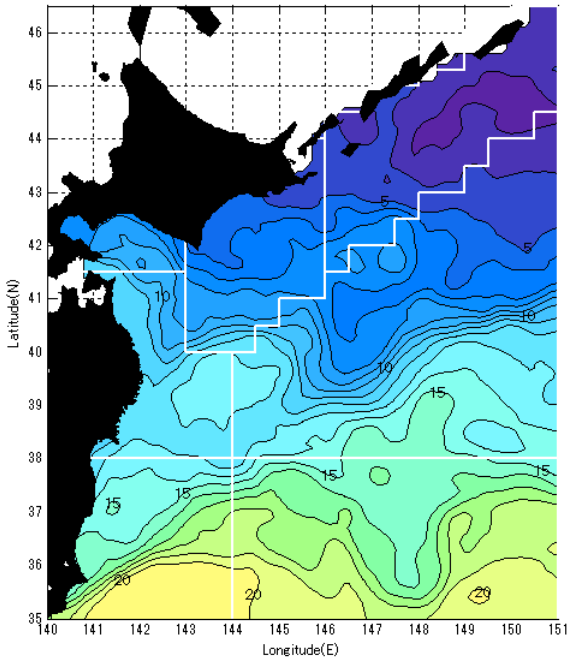
12月上旬予測表面水温分布図



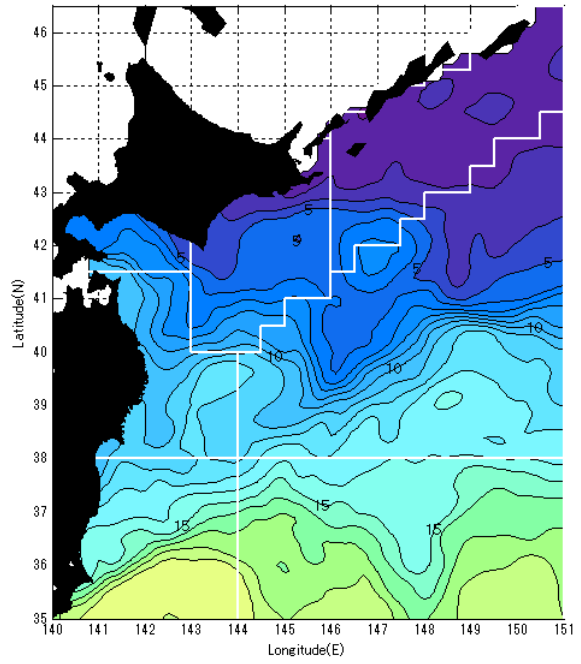
12月中旬予測表面水温分布図



12月下旬予測表面水温分布図



1月上旬予測表面水温分布図



参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>独立行政法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
---	---